

# 東京農業大学稲花小学校

## 学校だより【1月17日】第37号



### 3学期がはじまりました

1月8日(水)は始業式でした。1組の学級閉鎖で終わった2学期でしたが、始業式には1年生全員が元気に登校しました。まだまだ注意が必要なのは当然ですが、幸い、インフルエンザの猛威もひと段落したようです。

3学期は仕上げの学期、苦手なこと、できなかったことにも元気に冒険心をもって挑戦し、4月からは素敵な2年生になって下級生を迎えましょと、始業式の校長講話をいただきました。また、3学期からは編入生一名が、農大稲花小の仲間に入るという嬉しいお知らせもありました。編入生はさっそく、自分のクラスだけでなく、お隣のクラスでもご挨拶。72名全員で、3学期のスタートです。

### 賀詞交歓会

始業式を前に、学校法人東京農業大学の賀詞交歓会が1月5日(日)に開催され、大澤貴寿理事長から法人全教職員に向けての年頭のご挨拶がありました。また、農大稲花小の賀詞交歓会は1月7日(火)に行われ、総学校長でもある星野喜代美理事から年頭のご挨拶をいただき、少子化社会における初等教育の重要性、さらに、国際化やAIを含めた教育のポイントについて、小学校の教職員一同が理解を深める機会となりました。

### 七草粥

七草粥の給食では、「セリ、ナズナ……」の覚え歌を習いました。翌朝の昇降口に飾られた七草を前に、登校した子どもたちは「セリ、ナズナ…」と唱えています。「スズシロってダイコンのことなんだよ」と教えてくれる子どももいます。実物の力を感じる朝の光景でした。なお、笹(ざる)は、ミャンマーの農村で使うものを利用してみました。



## 第一回学校説明会を開催

1月11日(土)、2020年第一回学校説明会を開催しました。今年の秋あるいはそれ以降に小学校受験をお考えのお子様とその保護者が主な対象です。午前1回、午後2回の合計3回、「本校の理念とその具現化」「2020年度入学試験」についてご説明をしたあと、希望者には校内見学もしていただきました。去年を大幅に上回る750組近いご家族が参加されました。

農大稲花小設立の趣旨、教育の理念「冒険心の育成」、教育の方針やカリキュラムにご理解のあるご家庭に受験をお考えいただきたいと願っての説明会、熱心な様々な質問もいただきました。また、4月から入学した1期生に対する教育の実績を、在校生保護者様から、あるいは、小学校のHPやブログで知って興味を持った方が多くおられ、よりよい教育を進めていくことの責任を、改めて感じました。

## 子どもたちの成長

あれも聞いてほしい、これも話したい。子どもたちは教職員と話をするのが大好きです。そして、子どもたちから楽しい話が聞けるのは、教職員にとってもうれしいことです。少し前までは、自分のことばかり話す子どもがほとんどでしたから、話を聞く教職員は、何人もの話を同時に聞き分けたといわれる聖徳太子並み？の能力が必要でした。今でも、その状況は変わっていません。他人の話を聴こうとする姿勢、聴く力は、徐々に養われていくものと思っています。

しかし、変化も見られます。それぞれのクリスマス、正月の話が続いたあと、その中の一人が「先生は、お正月に何をしたんですか？」と聞いてきました。ゲームの話をしているときに、「先生、このゲーム知ってる？」と気づかって説明してくれた子どももいます。「会話を回す」という能力の芽生えですね。このようなちょっとした成長や変化を見られるのは、幸せです。ご家庭でも、子どもたちのできないこと、できなかったことだけでなく、できるようになったことを発見して、子どもたちと一緒に喜んでいただけたらと思います。

校長 夏秋 啓子